

# 出会い in 杉村病院



vol. 38 令和 2年 1月発行



## 新年のご挨拶



理事長 杉村 邦明

院長 乾 誠治

新年あけましておめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は、異常気象により広い地域で甚大な災害が発生し、多くの命や生活が奪われ、心を痛めることが多い年でした。しかし一方では、災害時の人道的支援や災害復興に取り組む方々の強さや温かさを知ることが出来、勇気づけられた年でもありました。

当法人杉村病院におきましては、10年前から行っている循環器内科の365日24時間体制に加え、脳神経内科(脳梗塞急性期治療)の365日24時間体制をスタートし、4月に熊本県から“脳卒中急性期拠点病院”として新たに御指定頂きました。

循環器科と脳神経内科の2本柱を強化させたこともあり、救急搬送の数が前年比で月平均177%増加し、より多くの地域の皆様へ、民間病院だからこそ出来る迅速で専門的な治療を提供させて頂けるように成りました。

本年は更にリハビリテーションにも力を入れ、回復期においても体制を強化していく計画です。

また患者様やそのご家族がお互いに、または当院の職員と気軽にお身体の悩み相談ができるような環境づくりを大切にしたいと考え、職員一人一人のスキルアップや意識改革、接遇の向上など取り組んで参ります。

医療法人杉村会は将来の新病院新築を見据え、より高度な医療技術を提供する民間病院を目指し、日々研鑽を積み、チャレンジを続けていく所存です。

皆様にとりまして穏やかで良い一年であります事を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

本年も医療法人杉村会をどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

令和2年1月

医療法人 杉村会  
理事長 杉村 邦明  
院長 乾 誠治



医療法人杉村会  
**杉村病院**

〒860-0811 熊本中央区本荘3-7-18  
Tel. 096-372-3322 FAX. 096-371-0886  
<http://sugimurakai.jp>



## 着任のご挨拶



医療法人杉村会 杉村病院  
循環器内科医師 野口 亮

### 経歴

1996年3月 濟々黙高校卒業  
2002年3月 佐賀医科大学医学部卒業  
2002年5月 佐賀医科大学付属病院消化器外科研修医  
2003年6月 唐津赤十字病院 外科研修医  
2004年6月 九州医療センター 外科医員  
2005年6月 大隅鹿屋病院 心臓血管外科医員  
2006年4月 新古賀病院 心臓血管外来医員  
2007年4月 福岡和白病院 心臓血管外科医員  
2008年4月 佐賀大学付属病院 胸部・心臓血管外科医員  
2014年4月 佐賀大学付属病院胸部・心臓血管外科  
2016年4月 熊本大学付属病院 心臓血管外科 助教

- ☆日本循環器学会循環器専門医
- ☆日本外科学会外科専門医
- ☆三学会構成心臓血管外科専門医認定機構  
心臓血管外科専門医
- ☆心臓血管外科専門医認定機構  
心臓血管外科修練指導医
- ☆日本心臓リハビリテーション学会  
リハビリテーション指導士
- ☆日本再生医療学会再生医療認定医

11月から杉村病院に循環器医師として赴任しました野口です。

赴任前までは、心臓血管外科医として、経験を積んできました。当院では、主に循環器内科領域での診療が中心ですが、血管内治療をはじめとして、心不全、不整脈などの地域医療にお役に立てるレスポンスの早い医療の提供はもちろん、外科として培った経験を生かして行きたいと思います。

当院は、脳血管、心臓血管の二領域で救急医療に力をいれておりますので、症例が増加することによって、一定数生じる血管合併症や、新規に発見される血管疾患などで外科的な治療が必要になる場合など、新たな治療オプションを当院に付加できるよう尽力できればと思っております。

今後は、下肢静脈瘤手術や、閉塞性動脈硬化症治療、透析のプラッドアクセス造設（シャント、人工血管シャント、表在化）、などにも対応できるように、総合的な血管センターとして付加価値をつけつつ、病院ひいては熊本県の地域医療にお役にたてるのではないかとも考えております。

よろしくお願ひいたします。



医療法人杉村会 杉村病院  
消化器外科医師 山根 隆明

### 経歴

1973年3月 熊本大学医学部卒業  
1973年7月 熊本大学医学部付属病院第2外科 研修医  
1977年11月 熊本大学医学部付属病院第2外科 医員  
1986年10月 熊本県福祉生活部社会国保課 技術史員  
1988年4月 熊本大学医学部2外科文部教官  
1990年6月 熊本赤十字病院医師 2外科副部長  
2003年10月 熊本赤十字病院 第1外科部長 兼 診療部長  
2004年4月 熊本赤十字病院 副院長  
2011年3月 朝日野総合病院 院長補佐

- ☆日本超音波学会専門医及び指導医
- ☆日本消化器外科学会専門医及び指導医
- ☆日本消化器病学会専門医
- ☆日本外科学会専門医

専門は、消化器外科で、特に肝臓、胆道、脾臓の疾患を中心に研鑽してきましたが、当院では消化器疾患の内科的治療を中心に、適切な医療を提供できるよう努力したいと考えています。相談しやすい診療に心がけ地域の皆様に寄り添った診療を行っていく所存です。

## 脳卒中の勉強会

11月21日、熊本大学病院脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の上田郁美様による4回目の脳卒中勉強会が当院で開催されました。「急性期からの廃用症候予防ケアポジショニング」という議題で、長期臥床による運動器、循環器、呼吸器、消化器、精神等への影響やポジショニングのポイント、離床に向けた全身管理について学びました。32名の参加があり、今後のケアに生かし、職員全体でスキルアップを図っていきたいと考えています。

回復期病棟副師長 三嶋





## 熊本市救急隊杉村病院合同症例検討会を開催いたしました

2019年11月6日当院にて、救急隊と当院との合同症例検討会および講演会を開催いたしました。熊本市救急隊より33名、菊池広域連合救急隊より3名、宇城広域連合救急隊より3名をお招きし、当院から28名の職員が参加いたしました。症例報告では、当院循環器内科 鐘ヶ江靖夫医師が「危険な失神」という演目で講演を行いました。当時実際に患者様の搬送を行った、南救急小隊 鎌畠博司様と田崎救急小隊 西濱義純様からも搬送経過をお話しいただき、大変有意義な公演となりました。隊員の方からは「珍しい症例でとても勉強になりました。」との声をいただきました。また脳神経内科医長の杉村勇輔医師が当院における脳卒中診療について報告を行いました。

本検討会に真剣かつ真摯に取り組まれる救急隊員の皆様の姿勢を見し、地域の方々のために懸命に働き、また常に最新の知識・技術を取り入れようとする努力なさっていることが我々職員にも伝わり、感銘を受けました。

当病院も地域の人々の健康を守り、地域の人々から愛され社会に貢献できる病院を目指し、日々研鑽を積んでまいります。

救急隊の皆様方、日頃より市民の安全と健康を守っていただき本当にありがとうございます。



営業・広報部 古家

## 患者様の声

M. A 様 2019年10月10日に塞栓性脳梗塞でご入院された  
(60代女性) M. A様に治療のことについてお話を伺いました。

### ※1 t-PAとは

脳血管に詰まった血栓を溶かす薬で、詰まった血管を短時間のうちに再開通することで脳梗塞から救う治療法のことです。

#### (今までの生活について教えてください)

私は、病気になるまでは根っからの仕事人間でした。保険関係の仕事を主人とほとんど休みなしで40年ほど従事していました。特に、大きな病気もした事がありませんでした。毎年の検診は行っていましたよ。異常値といえばコレステロールが少し高いくらいで血圧も低く、何も健康面で悩んだことはなかったです。日々の食事については野菜を多く摂ることを心掛けたり、油や塩分に注意するなどして調理していました。お酒もタバコもやらないので、ストレス解消の意味を込めて甘いものは良く食べていました。

#### (今回の病気になられた経緯を教えてください)

2019年10月10日朝7時半ごろ食事を作っていると、頭で自分が何をしているのか考えられなくなり思考が混乱、主人が異常に気づき救急車を呼んでくれました。最初は、基幹病院に搬送され、t-PA(※1)の点滴を打っていただきましたが、状態が急変したとのことで、脳血管内治療が必要になり、杉村病院へ急遽転院になりました。

#### (現在の状況はいかがですか)

現在は血管内治療と、リハビリ訓練を頑張って、日常生活に戻ることができました。異常に気づいてくれた主人と、タイミングよく杉村病院ですぐ血管内治療を受けられたことは本当に運が良かったとつくづく思っています。

#### (現在の心境は)

病気になって、今思うことは、脳塞栓症の原因となった疾患を検査して頂いて、完全に治したいです。それと病気をしてみて人生を振り返ると、今までには完全に仕事ばかりの人生だったので、これからは人生を楽しむために遊ぶことも考えて生きていきますよ。と笑顔とガツツポーズで答えられました。



営業・広報部部長 高橋



## 11月14日 世界糖尿病デー 記念ウォークに参加しました

11月14日の世界糖尿病デーは、世界に拡がる糖尿病の脅威に対応するために2006年国連総会において「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」が加盟192か国の全会一致で採択され、認定されました。11月14日は、インスリンを発見したバンティング博士の誕生日です。世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられます。国連を示す「ブルー」と、団結を表す「輪」よりデザインされています。2019年11月14日に熊本でも第13回となる記念ウォークのイベントが熊本大学糖尿病・代謝・内分泌内科 荒木栄一教授を筆頭に開催され、杉村病院からも12名で参加してきました。新市街一下通一上通を40分かけて同じブルーブルゾンを着用し糖尿病啓発しました。今年は、新しい熊本の顔となりましたSAKURAMACHI Kumamotoをブルーにライトアップしていただきました。（写真は、当院からの参加者一同とともに）

杉村病院では、月曜日～土曜日毎日糖尿病外来に加えて、月4回の「糖尿病教室」を開催し地域住民への「健康寿命延伸」に尽力しております。糖尿病の重症化予防のためには、早期発見・早期治療が重要ですので、気になる方はお気軽にお問い合わせください。（最終ページにご案内がございます）

糖尿病代謝・内分泌内科 久木留 大介



### ■心も体もほっとするレシピ～かぶと豚肉の煮びたし■

忙しかった年末年始が終わると、疲れや風邪などの体の不調が出やすくなります。寒い時期に旬な「かぶ」を使った、心も体もほっと温まる簡単レシピを紹介します。

☆かぶ☆

かぶは白い根の部分は淡色野菜、葉の部分は緑黄色野菜という2つの側面を持っています。“根の部分”は、アミラーゼという消化酵素が含まれており、栄養の吸収を助ける働きがあります。そのため、胃や腸の働きを整え、胃もたれ、胸焼けを解消する効果が期待できます。年末年始に食べ過ぎてしまったという方にお勧めの食材です！また、“葉の部分”は主にビタミンCが多く含まれており、根の約4倍含まれています。これは、風邪の予防や疲労回復、肌荒れの改善などに効果があります。

かぶは、根と葉で違う栄養素を持っているので、両方食べるとより効果的です！

#### 一作り方一

1. 豚肉に酒をふる。鍋に湯を沸かしあと湯通ししておく。
2. かぶは葉を落とし、薄く皮を剥いて半分に切り、さらに3等分のくし形に切る。  
葉は3cm長さに切る。
3. 鍋にだしを入れてひと煮立ちさせ、【A】とかぶ、豚肉を加えて煮る。
4. かぶの葉も加えてさらに煮て、かぶに七分から八分ほど火が通ったら火を止める。そのまましばらく置いて味を含ませる。
5. 器に盛り付け、好みでゆずの皮を飾れば完成です。

<材料（2人前）>  
豚肉・・・100g  
かぶ・・・小3個  
だし・・・200cc  
※好みでゆずの皮

#### 【A】

酒・・・大さじ1  
みりん・・・大さじ1  
薄口醤油・・・大さじ1/2  
おろし生姜・・・小さじ2  
塩・・・小さじ1/4

栄養価(一人当たり) エネルギー…195kcal 脂質…9.7g

塩分…1.2g たんぱく質…10.3g 炭水化物…6.9g

栄養部 宮田





## リハビリテーション部の取り組み

人の命を救う術として様々な方法がある中、「CPR～心肺蘇生法～」「BLS～一時救命処置～」という言葉をご存じでしょうか？当院リハビリテーション部ではリハ中の緊急時のみならず日常生活の場で、心肺停止などの急変時にこの術の必要性を感じたスタッフが、部内で研修を行い、合格に向けて研鑽を積んできました。そして今年10月、12月に開催された「AHA BLS HCP2015G」で豊田PT、松永PTがライセンスの更新し、当院1年目の平川PT、村山PT、宇野PT、田川PT、若宮OT、村本ST、中西STの7名が新規でライセンスを取得しました。コースでは、「成人小児乳児のCPRにおける胸骨圧迫・人工呼吸・AED・窒息の解除」の項目で実技試験及び筆記試験が行われました。このライセンスは世界基準及び世界最先端の知識と技術を学ぶ国際ライセンスですので世界各国で共通のスキルに合格した証となります。

医療職だけではなく、一般の方も受講できますので、興味のある方は一度受講を考えて見られたらいかがでしょうか？

リハビリテーション部部長 瀧下



## 2019年9月外来患者様アンケートの集計

### 患者様満足度調査の結果(受付・薬剤部門)

調査期間：2019年9月24日(火)～2019年10月4日(金)

上記アンケート調査に99名の患者様の回答を得ました。

アンケート結果については下記に記しました。

「満足」＝5点、「ほぼ満足」＝4点、「普通」＝3点「やや不満」＝2点、「不満」＝1点

アンケート回答者数

30歳代	5人
40歳代	5人
50歳代	13人
60歳代	35人
70歳代	22人
80歳以上	17人
無回答	2人
合計	99人

No.	質問内容	平均点	やや不満・不満を回答した方の数
1	予約時のスタッフの対応・言葉遣いはいかがですか	4.54	0人
2	受付スタッフの対応・言葉遣いはいかがですか	4.53	1人
3	受付はスムーズでしたか	4.27	4人
4	薬剤師の対応・言葉遣いはいかがですか	4.39	2人
5	薬剤師の知識や説明はいかがですか	4.38	2人
6	会計時はスムーズでしたか	4.29	2人
7	待ち時間に対する説明や配慮についてはいかがですか	4.00	3人
8	プライバシーなどへの配慮はいかがですか	4.18	3人
9	1階待合室の雰囲気はいかがですか	4.13	2人
10	待合室やトイレの清潔感はいかがですか	4.17	2人
計		4.29	延 21人

上記項目について 清潔感67.7%、雰囲気67.3%、プライバシーへの配慮67.0%、受付・会計時のスピード74.0%、薬剤師・受付スタッフの対応等には77.2%の方にほぼ満足以上の評価をいただきました。

一方で受付や診療待ち時間について今後の改善を期待するとの意見が見されました。

アンケートの結果は、病院として真摯に受け止め受付外来スタッフの増員や自動レジの導入など病院運営に反映させ、地域の皆様から愛され、信頼される病院へと改善に努めてまいります。

患者満足度向上委員会

## 糖尿病教室開催中



当院では入院患者様・家族・外来患者様・地域にお住まいの方を対象に糖尿病教室を開催いたしております。参加ご希望の方は、右記の日時に2階外来待合室へお気軽に越しください。

糖尿病代謝・内分泌内科 久木留 大介



### 杉村病院 糖尿病教室

1月の内容は、「シックディ」についてわかりやすく解説します。

日程	曜日	時間	担当者
1月9日	木	午後3時-3時30分	久木留 医師
1月22日	水	午後3時-3時30分	大塚 医師
1月27日	月	午後3時-3時30分	小林 医師
1月31日	金	午後3時-3時30分	鶴野 医師
食事療法について			
1月14日	火	午後3時-3時30分	清崎管理栄養士



### 杉村病院 糖尿病教室

2月の内容は、「薬物療法・内服」についてわかりやすく解説します。

日程	曜日	時間	担当者
2月6日	木	午後3時-3時30分	久木留 医師
2月10日	月	午後3時-3時30分	小林 医師
2月19日	水	午後3時-3時30分	大塚 医師
2月28日	金	午後3時-3時30分	鶴野 医師

### 場所：2階外来待合室

※予約不要です。どなたでも自由にご参加ください。

### 外来担当医師担当表

2020年1月現在

診療科目	月	火	水	木	金	土
循環器内科	午前	松田宏史	堀内正孝	松田宏史	成尾整形外科 上蘭先生	松田宏史
		堀内正孝	野口亮	鐘ヶ江靖夫	野口亮	堀内正孝
	午後	急患のみ	急患のみ	急患のみ	鐘ヶ江靖夫	急患のみ
糖尿病代謝 ・内分泌内科	午前	熊本大学病院 小林先生	熊本大学病院 松山先生	久木留大介	熊本大学病院 鶴野先生	熊本大学病院 担当医
	午後					
整形外科	午前					熊本大学病院 担当医 ※1
	午後			松枝康弘	熊本大学病院 ※2	
総合診療科	午前		乾誠治			
	午後				乾誠治	
脳神経内科	午前			杉村勇輔		
	午後	杉村勇輔			長崎国際大学 安東先生 ※3	
脳神経外科	午前			丸林徹		
	午後	丸林徹	丸林徹		託麻大病院 村上先生 ※4	丸林徹
消化器科	午前	消化器内科担当医 ※5	消化器内科担当医 ※5	熊本大学病院 消化器内科 鶴田先生 ※6		
	午後			熊本大学病院 消化器外科 担当医 ※7		

※1 9:00~12:00の診療

※2 14:00~17:00の診療

※3 13:00~17:30の診療(毎月第2金曜日のみ)

※4 14:00~17:30の診療

※5 9:00~13:00の診療

※6 9:00~12:00の診療

※7 14:00~17:30の診療



### 医療法人杉村会「基本理念」

地域の人々の健康を守り、地域の人々から愛され、社会に貢献できる病院を目指します

上記理念に基づき、以下の「基本方針」を設けました。

- 心のこもった適正な医療サービスを提供します
- 充分な説明をし、同意を得るための努力を惜しません
- 患者さまのプライバシーを守り、個人の尊厳が保たれるように努力します
- 患者さまを診させて戴く事に感謝の心を忘れません
- 高齢者の様々なニーズに細やかに対応します

### 医療法人杉村会 杉村病院

〒860-0811 熊本市中央区本荘3-7-18  
Tel. 096-372-3322 FAX. 096-371-0886

<http://sugimurakai.jp>

発行元：杉村病院広報委員会

